

みんなで語ろう会Ⅱ（児童虐待防止活動について）



- ・長年の取組みは評価できる。内容も充実している。多くの方に知ってもらい、来てもらう活動が大事
- ・電話相談は少なく、課題が残った
- ・行政の協力を得ることは大切
- ・子育てに関するイベントをしてみるのも方法。虐待が前面にでると参加しにくい雰囲気が出ないか
- ・若い人の関心が希薄 町内会単位でやるのが効果的ではないか



- ・12年前からこのテーマに取り組んできたことは素晴らしい
- ・発達障害など、すそ野を広げるとよいのではないか
- ・一部の人がだけ頑張っている状況
- ・日程など参加しやすくする
- ・メディア関係者にこの内容について担当している人がいるのではないか その人を講師にしてはどうか



- ・講演とディスカッションだけでは進展しないように思う
- ・現実的に貧困や病気などで、苦しんでいる方々に接してはどうか
- ・奉仕の押し付けになってはいけない
- ・解決に繋がる社会的な施設、例えば、青少年のシェルター等に援助するか、子ども食堂に援助するか
- ・直接的に応援するには、継続性のあるシステムを作らなければならない



- ・多くの人に知ってもらいたい
- ・補助金申請時期が早すぎる
- ・今の段階で修正するのは難しい
- ・南 RC だけでなく、他の団体に働きかける
- ・マルチリートメントを優しく表現する
- ・児童相談所は敷居が高くて身近でない

ロータリーの友 | Rotary

2022年10月号私のイチ押し！

澤野正幸会員

「デジタル時代の企業改革が会社と地域を変える」という RI 第 2530 地区の地区大会記念講演の要旨が興味深い内容でした。レタス農家や豆腐店のデジタル化も紹介されていたように、都会でも田舎でも、大企業でも中小企業でも、平等にデジタルの転換期を迎えています。それで得られるメリットは「カッコいい」だけではありません。その分、営業に出たり、商品開発ができる「暇な時間」が生まれ、自分にも相手にも時間をもたらすことができるという内容でした。「ロータリーの友」に私自身も変革のヒントを貰いました。



スマイル報告

○池田京子君 先月の28日の観月会・新入会員歓迎会は和やかな中での楽しい親睦となりました。次のクリスマス会も楽しみです。内田会長年度に幹事を務められた福山元会員が、長崎転勤後、今年の4月に大分県佐伯市に異動。6月に相談がありましたので、佐伯ロータリークラブ会長にご紹介しました。9月14日に佐伯ロータリークラブに入会でき、皆様方にも歓迎していただいたと嬉しい報告がありました。

○澤野正幸君 先日の観月会(新入会員歓迎会)はとても楽しかったです！お料理も美味しく、ご準備されましたフェローシップの皆さんに感謝いたします。本日は「みんなで語ろう会」活発なご意見が出ますことを楽しみにしています。

○内田修友君 結婚記念日に会長より綺麗なお花を頂きました。ありがとうございます。

○萩原隆志君 本日は「みんなで語ろう会Ⅱ」楽しみです。今年度に入り、南ロータリーの会員維持増強のために、知り合いの皆様にお会いしたり、電話したりして入会をお勧めしています。アルトサックスの演奏練習も今年度から再開しました。また、ロータリーの名刺を作りました。ロータリーの名刺をお渡しする皆様がロータリーを続け、南ロータリーに入会されることを願っています。

○杉原浩君 ヤクルト村上選手、最年少三冠王！最終戦で豪快な56号、日本選手最多ホームラン。おめでとうございました。

小計 6,000 円

累計 121,000 円